

# FY2024活動計画

2024年7月

## FY2023から継続して取り組むテーマ

---

### ① 優先的に取り組むもの

- ESG・SDGs調達の検証(FY23の活動も踏まえ、調達側の課題と対応 等)
- 社債市場の活性化 (POT方式・マーケティング期間短縮)

### ② 環境変化や会員意見を踏まえ、必要に応じて取り組むもの

- 財務人材の育成・ノウハウ継承

## その他テーマ

---

- 財務オペレーションの効率化・高度化 (RPA、Fintech 等)
- 財務戦略 (格付会社対応、金融機関政策、株主還元政策、調達戦略等)
- グローバルキャッシュマネジメント (金融子会社の機能高度化)
- ブロックチェーン基盤を活用した社債型セキュリティ・トークン (デジタル債)

# FY2023から継続して取り組むテーマ

## ①優先的に取り組むもの

テーマ	ESG・SDGs調達の検証	社債市場の活性化 (POT方式・マーケティング期間短縮)
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 23年度は証券会社を招聘し、最新のマーケット状況に関する事例紹介の場を設定。</li><li>➤ 24年度は引き続き現下の調達事例を題材に知見を深めつつ、これまでの資金調達手段と比較した、調達側にとっての課題や、対処すべき事項等についても検証し、同調達の活用を探っていく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 20年度にはトランスペアレンシーが導入され、POT方式に一步近づいたが、POT方式の本格導入に向けて、POT方式で起債経験のある事業会社との情報交換や、必要に応じて証券会社を招聘し論点・課題について意見交換を行う。(マーケティング期間短縮による起債運営の効率化および適正な手数料率についてもトピックの候補とする。)</li></ul>

# FY2023から継続して取り組むテーマ

## ② 環境変化や会員意見を踏まえ、必要に応じて取り組むもの

テーマ	財務人材の育成・ノウハウ継承
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 中堅・若手世代を中心に人材流動性の高まり、キャリア・働き方の変化が見られる。</li><li>➤ 掛かる環境下、財務人材の確保・育成・ノウハウ継承は重要な課題。</li></ul>

## テーマ候補

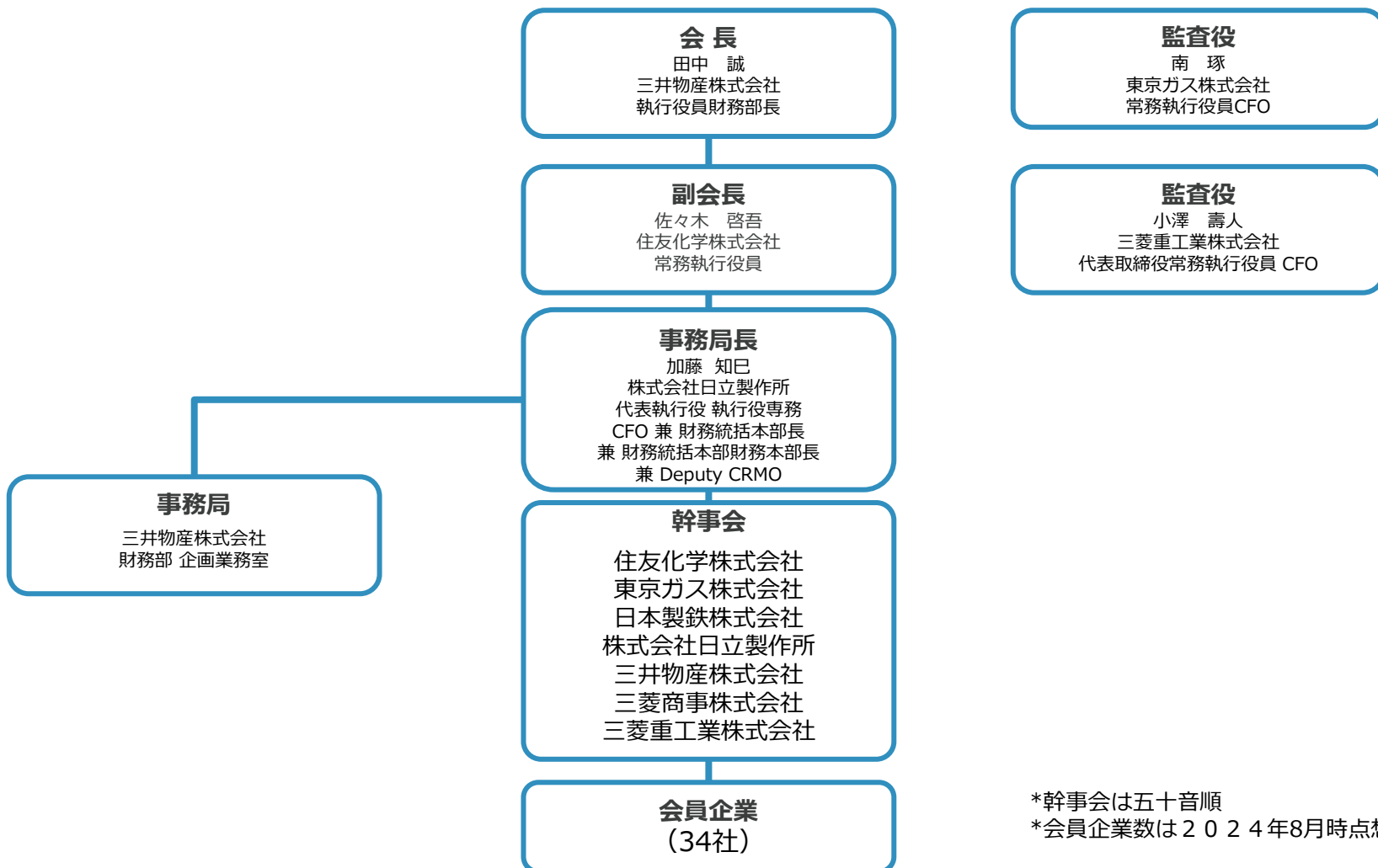
- 財務活動の効率化・高度化（RPA、Fintech等）
- 財務戦略（格付会社対応、金融機関政策、株主還元政策、調達戦略等）
- 財務分野における生産性向上
- グローバルキャッシュマネジメント（金融子会社の機能高度化）
- ブロックチェーン基盤を活用した社債型セキュリティ・トークン（デジタル債） 他

## 活動内容

- 会員企業のニーズを吸い上げ、内容に応じて個別に活動を計画、実行する。
- 候補に掲げたようなテーマに関して、取り組みが進んでいる会員企業に事例紹介を依頼し、同様の関心事項を持つ企業間でディスカッション出来るような機会を提供することも検討する。

# FY2024 運営体制

- 2024年7月の総会を以て、2024年8月1日より新体制となる予定です。
- 7社の企業で構成された幹事会は定期的開催され、協議会の運営の中心的な役割を担います。
- 2023年8月より、協議会はリモートワークを活用した活動を推進し、固定のオフィスを設けない体制といたしました。協議会宛の連絡先につきましては、協議会ウェブサイト (<http://cftaj.org/>) をご参照ください。



\*幹事会は五十音順  
\*会員企業数は2024年8月時点想定